



2025年12月1日

各 位

会社名 株式会社イオレ  
代表者名 代表取締役社長兼 CEO 瀧野 諭吾  
問合わせ先 (コード: 2334、東証グロース)  
取締役 CFO 貞方 渉  
(TEL. 050-5799-9400)

## 分散型AIデータセンター九州拠点の本格化へ デジタルダイナミック社が入来工業団地の用地交渉候補に選定

～イオレは戦略的パートナーとして、国内最大級の分散型AIデータセンター建設を支援～

株式会社イオレ（本社：東京都中央区、代表取締役社長：瀧野 諭吾、以下「イオレ」）は、戦略的パートナーであるデジタルダイナミック株式会社（本社：東京都港区、代表取締役：根来 実、以下「デジタルダイナミック」）が、2025年11月25日付で鹿児島県薩摩川内市入来工業団地における用地取得交渉者候補として選定されたことをお知らせいたします。

本件は、両社が共同で推進する「分散型AIデータセンター事業」における九州リージョン薩摩川内DCプロジェクトの一環であり、本用地取得により「分散型AIデータセンター九州リージョン」の構築を本格化させます。

デジタル  
ダイナミック  
Digital Dynamic,inc.

eole Inc.

WOODMAN

TOMORROWNET

分散型AIデータセンター事業

九州リージョン  
薩摩川内DC

入来工業団地にて選定

## ■背景

イオレとデジタルダイナミックは、2025年6月19日にAIデータセンターおよびGPUサーバー事業に関する戦略的提携を締結し、分散型AIインフラの整備を推進してまいりました。2025年10月2日には、デジタルダイナミックが総務省「データセンター等の地方分散によるデジタルインフラ強靭化事業」において間接補助事業者に採択されたことを受け、九州拠点として鹿児島県薩摩川内市に九州リージョン薩摩川内DCを新設し、同社と連携して分散型AIデータセンター事業における計算資源の確保を、効率的かつ戦略的に支援することを発表しております。本件はこれに続く九州リージョン薩摩川内DCでのフェーズ進展を意味します。

## ■ 本件のポイント

1. 薩摩川内市より選定：薩摩川内市入来工業団地（計4街区、約3.5万m<sup>2</sup>）の分譲交渉者に選定。
2. 「GB300 NVL72※」規格への対応：次世代ラックスケールデザイン「GB300 NVL72」規格の超高密度GPU運用に対応した最先端データセンターを構築。
3. 地方分散と強靭化：首都圏への一極集中リスクを回避し、九州エリアにおけるAI計算資源の核心拠点を形成。

### ※ GB300 NVL72

AI学習・推論共に、主に8個のGPUをサーバーに結合されることに対し、72個のNVIDIA Blackwell Ultra GPUと36個のArm®ベースのNVIDIA Grace™ CPUを統合した、完全液冷式の次世代のラックスケールデザイン。推論モデルにおいて、NVIDIA Hopperアーキテクチャと比較し50倍の出力を実現。

参考：<https://www.nvidia.com/ja-jp/data-center/gb300-nvl72/>

## ■ 用地取得と計画の概要

今回選定された用地は、鹿児島県薩摩川内市の入来工業団地内の4街区（2街区、7街区、8街区、9街区）で、合計敷地面積は約35,000m<sup>2</sup>となります。

イオレはデジタルダイナミックと連携し本用地において、生成AIの開発・運用に不可欠なGPUサーバーを高密度に実装できる次世代データセンターを建設します。

## ■ 次世代の運用規格に広く対応したインフラ構築

本プロジェクトの最大の特徴は、AI半導体の進化に即応した設計思想です。特に、発熱量が飛躍的に増大する次世代ラックスケールデザイン「GB300 NVL72※」規格など広範囲の設備搭載を見据え、従来の空冷方式に加え、高効率な液冷(Liquid Cooling)システムを全面的に採用する予定です。最新鋭のAI計算資源を安定的かつ低消費電力で運用することによって、国内のAI開発事業者へ世界最高水準の計算環境の提供を目指します。

### 【計画概要】

建設地：鹿児島県薩摩川内市 入来工業団地

敷地面積：約35,000m<sup>2</sup>（予定）

**受電容量**：最大で 19MW 規模で計画進行

**設備設計**：「GB300 NVL72」など最新式の GPU 運用に対応した冷却システム・環境設計・ラックデザイン

## **■今後の展望**

イオレは本プロジェクトにおいて、デジタルダイナミック社と連携し、AI UI 事業を通じたユースケース開発およびデータセンター活用モデルの社会実装を推進してまいります。

また、WOODMAN 株式会社やトウモロー・ネット株式会社などの協働企業とともに、効率的かつ環境負荷の少ない AI データセンター構築・運用を支援し、薩摩川内市における地域産業のデジタル化と雇用創出に寄与してまいります。

**【ご参考：本件に関連する過去プレスリリース（当社ホームページ）】**

・2025年10月2日「イオレ、デジタルダイナミックと分散型AIデータセンター事業を鹿児島県薩摩川内市で始動～鹿児島県薩摩川内市にセンターを新設、AI社会実装を加速～」

<https://contents.xj-storage.jp/xcontents/AS02822/2caec3a1/7ea0/4265/98d3/6c0f89c5263a/140120251002567616.pdf>

以上